

第60回岡山県高等学校総合体育大会  
兼 第47回岡山県高等学校少林寺拳法大会  
兼 第31回中国高等学校少林寺拳法選手権大会県予選会  
兼 令和3年度全国高等学校体育大会少林寺拳法競技大会予選会  
兼 第48回全国高等学校少林寺拳法大会予選会 大会要項

1. 目的 県下の高等学校における、少林寺拳法部間の親睦交流と技術の向上をはかり、少林寺拳法の正しい姿を一般に公開して、高校生として健全な精神と肉体の育成を図ることを目的とする。
2. 日時 令和3年6月5日(土) 9:30～開会式
3. 会場 岡山県立岡山工業高等学校 小体育館  
〒700-0013  
岡山市北区伊福町4丁目3番92号 TEL 086-252-5231
4. 主催 岡山県高等学校体育連盟、岡山県教育委員会、岡山県体育協会、山陽新聞社
5. 競技種目 男女別に次の種目とし、種目ごとの構成・人数・演武時間を次のように定める。  
(構成はいずれも6構成)

①団体演武	6人	1分30秒	～	2分
②組演武(競技Ⅰ)	2人	1分30秒	～	2分
(競技Ⅱ)	2人	時間制限なし		
③単独演武の部	1人	1分	～	1分15秒
6. 競技方法 「基準」「一般財団法人少林寺拳法連盟競技規則」「全国高等学校少林寺拳法大会規則」に基づき行う。
  - ①組演武は2人で行うものとし、男女の混合は認めない。
  - ②組演武(競技Ⅱ)は公認ボディプロテクター(二重構造のもの)を着用し規定組演武を行う。規定科目については別紙1のとおり。
  - ③団体演武のみ兼ねて出場できる。  
(団体演武と組演武、団体演武と単独演武の重複出場可)
  - ④団体演武は、1・6構成については単独演武、2～5構成については組演武にて行うこととする。この条件に合わないときみなされた場合は、失格とする。団体演武で用いる単独演武は、以下の単独演武より選択し、一方向のみ行う。  
※天地拳第一～第六系、義和拳第一～第二系、龍王拳第一・第三、白蓮拳第一系、龍の形、紅卍拳
  - ⑤予選参加申込み時に登録した以外の者を含むときは、失格とする。ただし、団体演武については8名まで登録でき、そのうち6名が演武するものとする。
  - ⑥演武の使用科目は、大会規則の則り武階に応じた範囲までとする。
    - ・演武者が「見習い・6級・5級・4級」の場合は、3級科目までの技が使用できる。
    - ・演武者が「3級・2級・1級」の場合は、初段科目までの技が使用できる。
  - ⑦一本背投げの後、少林寺拳法の技につながらない場合は禁止技とみなす。つながる場合は可とする。裏拳打ちなどに対して押受、押受突から横天秤は認める。
  - ⑧道衣の下にシャツを着用する場合は、規定にあったものを着用する。
  - ⑨コートについては、競技用マットを使用する。
7. 表彰 各種目とも技能優秀と認められる上位3位までを決め、賞状を授与する。

8. 参加資格
- ①学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
  - ②岡山県高等学校体育連盟加盟校の生徒であること。
  - ③平成14年4月2日以降に生まれた者とする。  
ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(県高校総体と県定通総体は同一の大会とする)
  - ④チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
  - ⑤統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
  - ⑥転校後6ヵ月未満の者の参加は認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、岡山県高体連会長の認可があればこの限りでない。
  - ⑦出場する選手は在学する学校の校長の承認を必要とする。
  - ⑧令和3年度の全国高等学校少林寺拳法連盟に登録された学校及び選手であること。  
選手の在籍する学校が全国高等学校少林寺拳法連盟に加盟していない場合は、令和3年度の一般財団法人少林寺拳法連盟に登録された選手の参加を認める。ただし、組演武及び団体演武の編成は同一校の生徒とする。
  - ⑨学校教育法第1条に定める高等学校以外の学校については、県高体連で参加が認められた者で、学齢、修学年限ともに高等学校と一致していること。

**【大会エントリーの特別措置について】全国高体連少林寺拳法専門部より**

- ・都道府県連盟での昇格や昇級の中止や延期のため、6月25日までの取得見込の武階での出場を認める。ただし、今大会にエントリーされた取得見込の武階に6月25日の時点で達していない場合はインターハイへの出場は認めません

9. 第31回中国高等学校少林寺拳法選手権大会について

開催日・会場 令和3年6月19日(土)～20日(日) 岡山工業高校 体育館  
男女別に組演武の部各4組、単独演武の部各4人、団体演武の部各4組とする。

**※新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止になる場合があります**

10. 令和3年度全国高等学校総合体育大会について

開催日・会場 令和3年7月30日(金)～8月1日(日) 長野県立武道館  
男女別に組演武の部各2組、単独演武の部各2人、団体演武の部各1組とする。

11. その他

- ①原則、会場内への立ち入りは出場選手と引率教員のみとする。
- ②会場内へ入場するものは別紙、健康観察表を記入し選手については保護者捺印の上、当日受付にて提出すること。

※この用紙は大会終了後、実行委員側で2か月間保存いたします。

12. 参加申込

学校長印を確認の上、郵送または持参にて申し込むこと (FAX、メール不可)

[申込先・問い合わせ] 県立岡山工業高等学校 大田原和宏  
〒700-0013 岡山市北区伊福町4-3-92  
TEL 086-252-5231  
E-mail : kazuhitoootawara@pref.okayama.jp

[締め切り] 令和3年5月14日(金) 必着

第 60 回岡山県高等学校総合体育大会  
 兼 第 47 回岡山県高等学校少林寺拳法大会  
 兼 第 31 回中国高等学校少林寺拳法選手権大会県予選会  
 兼 令和 3 年度全国高等学校体育大会少林寺拳法競技大会予選会  
 兼 第 48 回全国高等学校少林寺拳法大会予選会  
 競技Ⅱについて

■少林寺拳法ボディプロテクターを着用する

【競技Ⅱ 規定科目】 ※各構成とも、攻者・守者の構えについて、左右前の限定はしない。

	科目名	資格・拳系	選手A	選手B
1	突天一	3級・天王拳	攻者	守者
2	切抜(外)	4級・龍王拳	守者	攻者
3	半轉身蹴	2級・三合拳	攻者	守者
4	内受蹴(表)	3級・仁王拳	守者	攻者
5	片手送小手	4級・龍華拳	攻者	守者
6	外押受突	3級・仁王拳	守者	攻者

**1構成目 突天一 開構え**

攻者：中段構えより上段順突、中段逆突の二連攻。

※スピードを強調し過ぎ、肩腰の入っていない二連攻では加点しない。ただし、肩腰の入りを強調するがあまり、突の間が不自然に間延びするのは同じく加点しない。

※相手の蹴反撃をわざと当てるような動きは加点しない。

守者：一字構えより上受、同時受、引き身を行い、中段順蹴で反撃。

※反撃は直蹴とする。

※受け、反撃のタイミングが良く、蹴り返しを相手に当てる。

ア、攻者の踏み込み（適切な間合い）

イ、二連攻（順突・逆突）の肩腰の入り

ウ、後ろ千鳥からの上受、同時受並びに体捌きと体軸の安定

エ、蹴（体軸の安定）の極め

**2構成目 切抜(外) 開構え**

攻者：中段構えより、順手で相手の順手を握り捕り、引く。

守者：中段構えより、手首を誘う。差し替えながら鉤手守法、当身を行い、抜き、中段逆突。

※攻撃箇所を誘う際に、大げさな誘いをしない。

※動きを強調しようとし過ぎ、残心が長すぎるものや、動きが止まっているようなものは加点しない。

※鉤手の後の当身については方法は問わない。

※払いについては有無を問わない。

ア、攻者がしっかりと引く動作をしている

イ、守者が後ろ足を差し替えて、十分な鉤手になっている

ウ、理にかなった抜きを行い、そのまま中段逆突につなげる

エ、逆突の肩腰の入り（後足・膝の絞り）と極め

### 3構成目 半轉身蹴 開構え

攻者：一字構えより、中段逆蹴

守者：中段構えより、半轉身、打落受、中段順蹴

\*打落受の握拳、開手は問わない。

ア、攻者の踏み込み（適切な間合い）

イ、適切な間合いになる半轉身

ウ、蹴のタイミングと反撃効果のある間合い

エ、蹴（体軸の安定）の極め

### 4構成目 内受蹴(表) 開構え

攻者：中段構えより、上段逆突

守者：一字構えより、順手で内受、順足で足刀蹴

\*足刀蹴の形を正しく行う

ア、攻者の踏み込み（適切な間合い）

イ、相手の攻撃線をかまし、内受を行う

ウ、蹴のタイミングと反撃効果のある間合い

エ、蹴（体軸の安定）と極め

### 5構成目 片手送小手 開構え

攻者：中段構えより順手を掴み、引く、もしくは捻じる

守者：中段構えより鉤手法、当身、体捌きを行いながら送小手を行う。

\*鉤手の後の当身については、方法を問わない。

\*払いについては、有無を問わない。

\*極めの当身については、方法を問わない。

\*固めについては、有無を問わない。

ア、攻者が正しく攻撃している（引くもしくは捻じる）

イ、十分な鉤手になっている（当身の有無、方法は自由）

ウ、適切な足捌きと掛手

エ、送小手の体勢（体軸がぶれず、体と手の位置が適切）と当身（当身の方法は自由）

### 6構成目 外押受突 対構え

攻者：中段構えより逆拳を平拳にして、上段横振突

守者：一字構えより、体を入れて開き押受、中段突、熊手突

\*熊手突の形を正しく行う。

ア、攻者の踏み込み（適切な間合い）

イ、攻者の振突の肩腰の入り

ウ、差替入身と中段突のタイミングと腰の入り（差し替え足に重心をしっかりとせる）

エ、間合いを詰めて（少し相手に寄って）熊手突と、その肩腰の入り（後足・膝の絞り）と極め

\*科目のポイントを観点別にまとめておりますが、その観点のみを強調するがあまり、不自然な間や動き（技の流れが悪いブツ切りの演武）にならないよう、指導者の先生方におかれましては、ご注意ください。

同様に自由組演武においても、形だけの演武（体捌きの無い投技や不自然な気合やパフォーマンス）になることなく、高校生としての武的要素がしっかりとある演武となるようにご指導ください。